

下部内視鏡検査（大腸カメラ）のご案内

検査予約日時 年 月 日 時 分

お願い事項

- 予約の 30 分前にご来院ください。
- 着脱しやすい服装、歩きやすい靴でご来院ください。装飾品(アクセサリー)はつけてこないでください。
- 検査前に血液検査をさせていただくことがあります。
- 排便状況により検査順番が前後することがあります。

持参していただくもの

- ご案内、問診票、説明書・同意書(ホームページからダウンロードしていただき、ご持参いただくとスムーズです)
- 診察券、保険証、お薬手帳
- 当院で腸管洗浄剤を服用される場合、本やパソコン、タブレットなどをご持参いただいても結構です。
- 当院でモビプレップを服用される場合は、水かお茶 1000~1500ml をご持参ください。

検査前日

- 朝から検査食や消化の良いもの(お粥やうどんなど)を食べてください。野菜・海藻・きのこ・こんにやく・果実の種などは控えてください。夕食は 20 時までに済ませてください。20 時以後も水・お茶・スポーツドリンクなどは摂取していただけます。
- 就寝前に下剤(錠剤)を内服してください。

検査当日

- 朝から検査が終わるまで絶食です。水やお茶は摂取していただいて結構です。
- [当院で下剤を内服される方] 9 時にご来院ください。
- [自宅で下剤を内服される方] 8 時から内服を開始してください。

内服薬

- 血圧や心臓の薬は、検査当日の午前 7 時までに内服してください。
- 糖尿病の薬は、検査当日の朝と昼は内服しないでください。
- 血栓予防の薬(血をさらさらにする薬)は自己判断で中止せず、医師の指示に従ってください。(他院で処方を受けている場合は、処方医に確認していただくことが望ましいです)

検査後

- 鎮静剤を使用した場合やポリープ切除をした場合は、30 分~60 分休んでいただく必要があります。

下部内視鏡検査（大腸カメラ）説明書・同意書

目的

- ・肛門から内視鏡を挿入して、大腸内を詳しく観察します。多くの大腸がんはポリープから発生するため、ポリープを切除することでがんを防ぐことができます。大腸がん検診の2次検査としても推奨されています。

方法

- ・ご希望に応じ鎮静剤や鎮痛剤を使用して、うとうとした状態で内視鏡を挿入します。
- ・色のついた水(色素液)を散布したり、生検(組織採取)を行う場合があります。(お持ちの病気や、内服されている薬によっては生検できない場合があります)
- ・ポリープを切除することができます。ただし切除できるポリープの大きさや個数には制限がありますので、必要に応じ病院へご紹介させていただきます。
- ・検査時間は20分～30分程度です。複数のポリープを切除する場合、時間が長くなる場合があります。

危険性・偶発症

- ・使用する薬剤(下剤や局所麻酔薬)によるアレルギー:ショックとなることもあります。
- ・腸管洗浄剤(下剤)により腸閉塞や腸穿孔を起こす可能性があります。
- ・出血・穿孔(穴があくこと):ポリープ切除や生検(組織採取)したところから出血することがあります。穿孔した場合、多くの場合手術が必要となります。
- ・下部消化管内視鏡検査に伴う偶発症の発生頻度は、0.011%(出血1～3%、穿孔0.1%未満などの報告があります)死亡例は0.00082%と報告されています。

鎮静剤・鎮痛剤の使用

- ・点滴注射で投与します。うとうとする程度のお薬です。
- ・アルコール多飲者など、鎮静剤が効きにくい方もいます。
- ・ご高齢の方やリスクが高いと判断した場合は使用できないことがあります。
- ・循環抑制(血圧低下や徐脈など)や呼吸抑制(呼吸数の低下、呼吸停止)、前向き健忘(検査前後のことを忘れてしまう)、薬剤アレルギー(湿疹、呼吸困難、ショック)、血管炎などの危険性があります。鎮静剤投与による偶発症発生率0.0013%(8万分の1)死亡率0.000024%(400万分の1)と報告されています。
- ・検査当日は車、バイク、自転車などの運転は控えてください。公共交通機関でご来院ください。ご家族の同伴または送迎が望ましいです。検査当日の重要な判断は避けてください。

* 細心の注意を払い検査を行いますが、予期せぬ合併症・偶発症が起こる可能性があります。場合により入院や手術が必要となることもあります。その際の医療費は患者様の負担になりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

ゆぐちクリニック 院長 湯口清徳

私は、上記内容の説明を受け理解しましたので下部消化管内視鏡検査を受けることに同意します。

年 月 日

患者氏名 _____

親族または代理人 _____